



YMCA 大阪青年

4

2019年4月1日発行
1916年5月1日創刊
発行 / 小川 健一郎
編集 / 大阪 YMCA 広報室
〒550-0001
大阪市西区土佐堀 1-5-6
Tel 06-6441-0894
Fax 06-6445-0297
URL: <http://www.osakaymca.or.jp>

変化の時代にむけて



大阪YMCA
会長
なかがわ よしひろ
中川 善博



野外・キャンプのプログラムで子どもたちユースリーダーがピンクシャツデーをアピールしました。

この時代、騒がしくていつも急ぎ立てられているような感じがする。それでいて、漠とした不安と先行きの見通し難い只中にいるようだ。東京オリンピック・パラリンピック、大阪・関西万博、皇位継承、消費増税と賑やかな一方、自然災害やDVIによる痛ましい事件が日常化している。

そうした中、社会に変革をもたらし、生活に大きな影響を及ぼす変化の波が押し寄せている。グローバル化の進展であり、IT・AI時代の到来である。

人口減少と少子高齢化による人口構造の歪みは、生産人口を激減させ、国の在り方をも変えつつある。労働市場が開放され、外国人労働力の導入と定住化が進む。今でもコンビニや飲食業・農業や中小工場では、外国籍の若者抜きでは立ち行かない。街なかや交通機関ではインバウンドにより各国語が溢れ、6,7年前には想像できなかった風景が

展開している。グローバル化の波は、確実に社会の隅々にまで広がっている。

さらに、産業構造や社会の在り方をも変えつつあるIoTやAI・ロボットが、世界的規模で産業・経済・教育・医療・生活などあらゆる面で変革を迫っている。10年もすれば、AIやロボットが事務作業やサービス業務を人にとって代わり、流通や移動手段の無人化が進むといわれている。この急速な変化は、社会の仕組みや人々の意識・価値観にどう影響するのだろうか。変化にどう向き合い、どのようにふるまい、どう対応すべきなのか。

デジタル社会の進展は、効率化や利便性が高まる一方、格差を拡げ社会の分断化を生む怖れも強い。アナログ社会がもつ、温かく緩やかな流れの世界に郷愁をすら感じられる。

無機質化の社会が進むほど、人につながり、人と関わり、人間らしく生きる大切さに気

付かされる。デジタル社会に向き合うキーワードは、人と人のつながりである。

こうした変化の時代こそ、人につながるYMCAの働きをボランティア・スタッフの立場を超えて確かめ合いたい。YMCAの事業や働きは、社会の課題に向き合い、社会と人にしっかりとつながっているか。活動が、生き甲斐や充実感を生んでいるか。人々とのつながりは、違いを超えて進められているか。

一人ひとりのこうした営みの積み重ねが、YMCAのパワーとなり社会に対するメッセージとなる。これこそ、ポジティブネットでありブランディングといえる。

4月から大阪市立水都国際中学校・高等学校の指定管理・運営など、YMCAの新しい挑戦が始まった。時代に向き合い、自己革新に努めつつ、人と社会への働きをしっかりと進めようではないか。

■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭・地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

～いじめのない世界をめざそう～

ピンクシャツデー (Pink Shirt Day) 2019



2019年2月27日(水)

参加者:9,445名 メッセージ:4,871件

全国のYMCAと行動を共にするピンクシャツデーも今年で4年目。大阪YMCAでは、2月をピンクシャツマンズとして、全事業所・活動拠点で多くの参加者と共に「いじめのない世界」をめざしてそれぞれの願いや思い、考えを発信しました。行政機関からの後援をはじめ、多くの企業・団体にも広く賛同を呼びかけ、40を超える団体の協賛と具体的な行動に結びつきました。



ブランディング制作 グラムコによるデザイン無償協力

1. 主な各事業所・活動拠点での取り組みから

◎YMCA学院高等学校

若いスタッフたちにより、LGBTQ(※)への理解を深めるイベント「男の娘 大島薫さんトークショー～性・家族・恋愛・仕事について語っちゃいます～」を開催。ゲストに出席者からの質問に答えてもらい、理解を深めました。



◎サッカー大会でアピールイベント

2月16日(土)、セレッソスポーツパーク舞洲で開催された少年サッカー大会。サッカークラスの小学生インタビュー記事が新聞(大阪日日新聞)に掲載されました。



◎各拠点ごとに全会員・参加者を巻き込んだ取り組み

大阪YMCAインターナショナルスクール(OYIS)では全校で取り組みを実施し、各クラスの発表を通して、いじめ反対の想いや考えを共有しました。

(※)LGBTQ……レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー、クエスチョニング(性自認や性的指向を定めない人)の頭文字をとっている。Qは性的少数者の総称を表す「クィア」という意味でも使われている。

2. 学校・教育機関などでの取り組み

地域の学校などでは、ポスター掲示、ちらし配布、さらにいじめについての授業などが行われ、啓発活動が広がりました。



阿南市立椿小学校の子どもたちによるアピール

【ご協力いただいた学校・教育機関など】

- 堺市……堺市立若松台小学校、堺市立上神谷小学校、堺市立福泉中央小学校
- 東大阪市……東大阪市立孔舎衛小学校他、東大阪市役所、東大阪市教育委員会
- 徳島県……阿南市立椿泊小学校、阿南市立椿小学校、椿保育所、四国大学附属認定こども園、認定こども園めぐみ幼稚園めぐみ保育園、わかさ幼稚園、阿南市役所、阿南市教育委員会
- 大阪府……桃山学院中学校高等学校、大阪明星高等学校、関西大学第一高等学校、泉南市立東小学校、千里山グレース幼稚園 幼児体育、みくま幼稚園 幼児体育、東豊幼稚園教職員、認定こども園たちばな保育園、大阪体育大学高宮研究室

3. 企業・団体の協賛

敬称略・順不同

◎日本女子プロ野球リーグ「京都フローラ」

一般社団法人日本女子プロ野球機構の協力により選手、監督から発信していただきました。



◎セレッソ大阪

4年連続で協賛をいただき、主要選手たちがメッセージを発信しました。



◎その他

- ・大阪市スポーツ少年団サッカー部会
- ・FC大阪 CRAVO(女子サッカーチーム) ・J-GREEN堺
- ・FCライジング ・大阪府公民戦略連携デスク ・ソフトバンク株式会社
- ・株式会社イマイチ ・損害保険ジャパン日本興亜株式会社関西第一本部
- ・リコージャパン株式会社ラグビーチーム ・株式会社デジタルステージ
- ・株式会社OTOSO ・株式会社ものづくり学校 ・株式会社キッズスター
- ・株式会社ハイパードライブ ・小林製薬株式会社 ・株式会社ジオナ

4. 後援

文部科学省、東大阪市教育委員会、阿南市教育委員会

YMCAビクトリアとパートナーシップ再締結



大阪YMCAグローバル事業推進室 室長補佐 ドミニク・パングラジオ

1月27日(日)から2月2日(土)まで、小川健一郎大阪YMCA総主事がオーストラリアのYMCAビクトリアを訪問し、今後の戦略的な連携を深めるために、YMCAの経営からマーケティング、新規事業開発、ボランティア育成等の事業運営に至るまで意見交換がされました。1月29日(火)には、小川総主事とピーター・バーズYMCAビクトリアCEOが、両YMCAのパートナーシップの合意文書(MOU: Memorandum of Understanding)に再調印しました。両リーダーからMOUによるパートナーシップにおける成果を踏まえて、今後はYMCAのグローバルネットワークを活かした、①マネジメント、②人材開発、③事業発展、④プログラム実施という4つの戦略分野を定め、グローバルな視点で地域社会に影響を与え続けたいと決意が語られました。また、社会から高い評価を受けているリーダーシップ育成プログラムや交流の機会を、両YMCAでノウハウを共有して実施し、スタッフだけではなくボランティアも積極的に参加できるように検討を進めることが話し合われました。



左からピーター・バーズYMCAビクトリアCEO、小川健一郎大阪YMCA総主事

SDGs達成に向けた動きから学ぶ ～第19回中日本地区YMCAグローバル教育研修会～



大阪YMCA国際専門学校表現・コミュニケーション学科 スタッフ 立花 祐里彩
大阪YMCA J-IVY スタッフ 大川 寧々

六甲山YMCAにて開催された、第19回中日本地区YMCAグローバル教育研修会に参加しました。参加者の国籍も所属も様々であったため、広い視野で持続可能な開発目標(SDGs)達成に向けての話し合いをすることができました。セッションの中で、日本や世界のSDGsに関する取り組みや、YMCAが平和や貧困、教育のゴールに対してどのような働きかけを行っているのかを参加者の間で議論することができました。

また、議論とは別にSDGsのカードを使用して、「環境、社会、経済」の仕組みや流れを体感することができました。世界が社会を良くしようと活動しても、環境や経済の問題が発生し、バランスよく世界が進むことはなかなか難しいと疑似体験しました。

大阪YMCAでは、SDGs達成に向けて多くの活動を行っています。この研修会を受けて、私たちは大阪YMCAの一員として日々の活動に取り組んでいくと共に、SDGs達成に向けた世界的な動きに参加したいと感じています。



体力向上キャンペーン

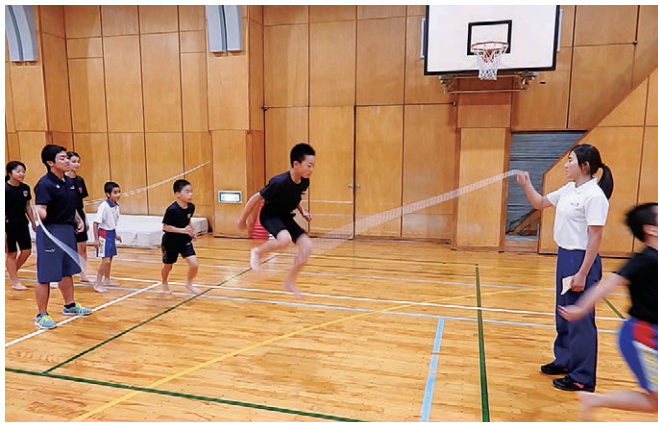
土佐堀YMCA スタッフ ふじわらまなぶ
藤原 学

現代の子どもたちは、社会環境の変化、生活全体が便利になったことで、遊ぶ場所、遊ぶ仲間、遊ぶ時間が減少するとともに、運動不足の傾向にあります。運動不足は、学習意欲の低下や食事、快適な睡眠の妨げの要因のひとつと考えられています。

そこで、運動習慣を身に付けることにより、幼少年期に必要な体力の基礎を作り、生活習慣を整えることを目的として、2018年11月1日から2019年1月31日の期間で全国のYMCAが一斉に体力向上キャンペーンを実施しました。

「みんなで縄跳びを跳ぼう!縄跳びチャレンジ」を共通テーマとして、縄跳びで様々な挑戦をしました。その中でも1番大きな挑戦として、1月に全国のYMCAで大縄跳び30,000回にチャレンジしました。大阪YMCAでは、67クラスで20,239回を跳ぶことができました。全国のYMCAの合計は、なんと202,085回も跳ぶことができ、目標を大きく上回ることができました。

今回のキャンペーンで、子どもたちが身体運動の大切さを感じるきっかけになったのではないのでしょうか。今後も子どもたちの体力向上をめざし、運動習慣改善へのアプローチを継続していきたいと思えます。



2019年度大阪YMCA 基本方針・年間聖句・年間讃美歌 決定

2019年度 基本方針

—みつかる、つながる、よくなっていく—
互いを認め合い、高め合う
「ポジティブネット」のある豊かな社会を創る。

2019年度 年間聖句

あなたがたは世の光である。
(マタイによる福音書 5章14節)

2019年度 年間讃美歌

讃美歌21-484番
「主われを愛す」

大阪YMCA早天祈祷会

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAの様々な場で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かちあう恵みの時としています。

■第312回 日 時...2019年4月19日(金) 7:30~8:30

奨励...もりた よしゆき森田 喜之さん
(日本キリスト教団大阪福島教会 牧師)

場 所...大阪YMCA会館 10階 チャペル

問合せ...大阪YMCA 統括本部 総務
TEL:06-6441-0894
E-mail:info@osakaymca.org

大阪YMCAクリスマス献金へのご協力ありがとうございました。
(敬称略)

五味 昌太 廣田 航輝 松浦 孝次 山本 勝国 山本 ヒデ子

会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2019年2月度報告・敬称略

【継続会員】
出原 廣太
大野 真由美
木下 康生
小池 晃

辰日 日登美
渡口 未莉子
萩野 裕大
松浦 孝次
松下 奈央

松田 夏那子
山本 さくら
吉永 誉

【継続賛助会員】
株式会社イマイチ
株式会社藤木工務店

大阪YMCAのホームページで
その他の情報をご覧いただけます。

